

全体まとめ



理想像と 私たちがやれること

新潟市の 2030 年の姿に必要な 3 つの方向性と
私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

新潟市の二〇三〇年に必要な方向性
学生が考える重要な方向性

先進的な DX 都市を目指す

学生、民間企業、行政がタッグを組んで IT の技術を高めていく

コミュニケーション & 政策提言

SNS を使った仕組みで社会の変化に対応 協働の場を創る

NO.1 の魅力をつくる / 新潟市のシンボルを前面に出す / 新潟市のシンボルがある

世界に誇れる新潟の魅力を磨く・創り出す

新たな魅力づくりよりも、今あるものから他の地方都市と差別化できる要素は何かを真剣に考える

今ある資源を生かした「新潟ならではの」ものを絞り込む

チャレンジに寛容な都市 / 地元愛 × 起業 / やりたいことができる土壌のある都市 / 新しい考えや変化に素早く適応する都市

多様性にあふれ、起業を後押しする環境が整っている

新潟が好きな若者がチャレンジしやすいまちにする

一人ひとりの考えが大切にされ、社会課題を解決しながら挑戦していく

社会の変化に合わせて「新しい何か」を生み出す

生き方・働き方の多様な都市 / やさしく多様性が保たれた都市 / 住みたい都市

戻ってきたい、新たに來たいという環境をつくっていく

誰もが差が無く、幅広い多様性を保ち、住みよさを実現していく

今いる人がずっと住んでいたいと思える生活インフラを整備する

私たちがやれること

魅力をカッコよく発信・再発見する
SNS・まち歩きなど

起業家となり、若者世代をひっぱる
IT で仕組みをつくり解決する

企業・地域・行政と学生の関係を変革する
協働の場づくり

あたたかみのあるソリューションを提供する
認知症カフェ、訪問診療など



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

重要な方向性はこれだ① ターゲットを絞ったまちづくり

若者、女性、子ども、高齢者など具体的な対象をしっかりと設定した政策の実施

- 車を持っていないとどうしても生活のハードルが高くなってしまふ。交通弱者にやさしい都市計画を考えることで、観光客にもやさしい新潟市になる。
- 子育て世代向けのサポート制度を充実させることで、里帰り出産を考える家庭が増える。

今ある地域資源の活用を重視する。

ハードよりソフトを重視した観光を

- スノーピークが急成長している。コロナ渦もありアウトドアの需要が高まっている。信濃川沿いのミズベリングのように、豊かな自然を生かした観光をもっとブランディングしていく。

重要な方向性はこれだ② 新潟市のシンボルを前面に打ち出す

新たな魅力づくりよりも、今あるものから他の地方都市と差別化できる要素は何かを真剣に考える

- 食や酒、日本海、自然など新潟らしい魅力を掛け合わせて県内外にPRしていく。
- ライバルの地方都市の設定をする。東京などの大都会と戦う必要はない。

重要な方向性はこれだ③

新潟市の魅力にアクセスする手段をもっと分かりやすく

新潟市の魅力を市民向けだけでなく、新潟出身で市外・県外に出ている人にも積極的に発信していく。⇒Uターンを増やすねらい

小さな魅力を個々人が発信できる仕組みづくり

- 新潟市が魅力を発信するよりも、市民が魅力を発信できるプラットフォームづくりに注力するといふ。結果として私たちが魅力の再発見をすることにつながる。
- 県外の友人を案内するときの道しるべになる。
- SNS 映えする魅力より、魅力の全体量で勝負。
- モノだけでなく、ヒトも魅力になる。



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

先進的なDX都市 重要な方向性はこれだ①

学生、民間企業、行政がタッグを組んでITの技術を高めていく

- スマート農業が新潟を救っている
- 新潟ならではのIT技術研究が進み、開業率全国46位をくつがえす

- VRでダンスなどテクノロジーと感性が融合する

重要な方向性はこれだ③ 個性輝く都市

新潟が所有する魅力(産業・古町芸妓・伝統文化・農業系技術・工業系技術)をカッコよく伝える

誰もが政策策定に参加できる都市

- ITの技術で一人ひとりの意見をつなぎ、熟議を重ねる

重要な方向性はこれだ②

やさしく多様性が保たれた都市

誰もが差が無く幅広い多様性を保ち、住みよさを実現していく

- 認知症カフェの動きが広がり、共生の価値が高まる
- ちょっとした風景の中にある共生社会を大切にする
- 今動いているトモニプロジェクトの方向性を伸ばす

地域愛を育む都市

- 市民が愛着を抱き、子育てするなら、仕事をするなら、豊かな生活をするなら、新潟市を選ぶ。
- 帰ってくるまちとなる
- 楽しみ、学び、まちを知り、感じる



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

地元愛×起業 重要な方向性はこれだ①

新潟が好きで若者がチャレンジしやすいまち

- 企業が学生に投資して、若者のやる気と熱意を引き出す
(e.g. 「動物セラピー」のような新しい産業を生み出す)

重要な方向性はこれだ③

コミュニケーション&政策提言

SNS やオンライン会議を使った仕組みでつながり社会の変化に対応

- 若者・高齢者・地域の人々をつなぐコミュニケーションの場を広げたい (e.g. 認知症カフェ)
- 今回のワークショップのような形で、企業と学生、学生同士がつながる明るく元気なまち

重要な方向性はこれだ②

No. 1の魅力をつくる

世界に誇れる新潟の魅力を磨く・創り出す

- 再生可能エネルギーやものづくりはさらに磨きをかける
- 環境・食×観光で新潟の魅力をPR
- 都市と自然が融合し、新潟を来たい、住みたい、働きたいまちに
- SDGs先進都市として世界とつながる

学生×企業×地域が
つながって発信！

SDGsの中で新潟らしい特色を出せるのは
「福祉」「共育」「人権」



理想像と 私たちがやれること

最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

チャレンジに寛容な都市 重要な方向性はこれだ①

多様性にあふれ、起業を後押しする環境が整っている

- 若者が何かを始めやすい
- やりたいことにチャレンジできる
- 多様な人が共存できる
- 選択肢が多い

- 何か行動する際に、新潟が選択肢になる
- ワークेशन目的で定期的に新潟を訪れる人が増える

私たちが新潟を発信します！

- 未来を作る若い世代と情報を共有します！
- 全国規模のイベントに参加して新潟をアピール！
- 県や市のプロジェクトに参加してアイデア発信！
- 魅力を知り、地域に現状を知り、伝えます！
- ”ゼロからイチにする”もっと若い世代がやりたいことを見つけられるようなイベントを作ります！
- まち歩きルートを開発して実施します！
- SNSを活用して新潟の魅力を発信！

重要な方向性はこれだ②

新しい考えや変化に素早く適応する都市

社会の変化に合わせて、“新しい何か”を生み出す

- 多世代が関わり合いながら、お互いを認め合い、すぐに行動に移すことができる

重要な方向性はこれだ③

新潟市のシンボルがある

今ある資源を生かした、“新潟ならではの”ものを絞り込む

- 新潟市はいいものがたくさんあるが絞り切れていない
- ”推し”を作ることで注目度を高める



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と
私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

重要な方向性はこれだ①

生き方・はたらき方の多様な都市

戻ってきたい、新たに来たいという環境を
つくっていく

- WI-FI 環境の快適化・普及を進め、ネットワークインフラを高める。
- 大学・専門の学びの多様さ、生き方の選択・はたらき方の多様さを増やす。

- 県外に向けたアピールの方法・表現方法を工夫する

重要な方向性はこれだ③

住み続けたい都市

今いる人がずっと住んでいたいと思える生活
インフラを整備する(公園・子育て環境・公共交通)

想いのある人同士がつながり行動できる都市

- IT の技術を生かしながらつながり、応援し合える関係がとれる。

重要な方向性はこれだ②

やりたいことができる土壌のある都市

一人ひとりの考えが大切にされ、
社会課題を解決しながら挑戦していく

- 0からチャレンジしてみようと思える環境がある。
- SDGsの視点から一人ひとりが課題を解決していく
- 次世代につながる体験と学びがある。

つながりを育む都市

- 学生と小さなお店が協働しながら、まちの活性化を進めていく。
- 高齢者も若い人も相互に理解して、双方にとって住みやすく、ストレスのない環境にしていく。
- 車や免許のない人でも移動手段が確保できるよう、公共交通機関のネットワークを充実させる。